

吉田 稔 筆

令和4年1月 No.139

● 編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域

謹 賀 新 年



写真撮影 巾 康友

会長 青柳 直樹

今年の干支は壬寅（みずのえとら・じんいん）です。干支とは世界の理を知り、未来に備えるために生み出された暦のシステムで、壬寅は「冬が厳しいほど、春の胎動を助く」といわれております。この干支を信じるならば、世の中は厳しいコロナ禍に耐えていましたが少しずつ明るい生活に戻るとしております。私は「冬は必ず春となる」という言葉が好きです。この干支の意味と通じるものがあると思います。

2年前から全世界で感染を引き起こした新型コロナウイルスは、ワクチン接種による効果や治療薬の開発により少し明るい兆しが見えてきましたが、その矢先に、新たな変異株（オミクロン株）の感染者が出始めました。ウィズコロナの生活から解放されるのはまだ少し先のことになりそうです。

昨年10月にコロナ禍における避難所訓練を増尾近隣セ

ンターで実施しました。この訓練は防犯防災部の増尾地域合同防災訓練実行委員が中心となって、柏市で初の住民中心での訓練として成功裏に終了しました。今後は各避難所で実施すべく、避難所運営委員は意気軒昂に準備を進めています。

今後はホームページの充実、地域住民の作品の発表の場である文化祭や日頃から研鑽している習い事のお披露目の場である芸能発表大会、環境に配慮したゴミゼロ運動、高齢化の進む中での見守り助け合い隊の活動、地域住民が楽しみにしている地域ふれあいのつどいと敬老のつどい等々、知恵を絞り感染拡大防止に努めながら、実施の方向で考えております。

地域住民の温かいご協力とご理解をいただきながら、皆が親しめる「ふるさと増尾」を目指し共に頑張りたいと思います。本年もよろしくお願ひいたします。

コロナ禍で考え

2021年10月17日（日）、増尾地域合同災害訓練を増尾近隣センターの体育室で実施しました。

今年度は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から多くの行事が中止になりました。今後、コロナ禍においても首都圏直下の大地震が起きることも想定され、避難所でのコロナウイルスによる複合災害が危惧されることとなります。従来の避難所の受け入れ運営では、コロナの感染対策はされておらず無防備な状態です。大規模災害が発生した場合、避難所は悲惨な状況下に置かれることとなります。それを少しでも低減すべく、コロナ感染防止対策を講じた避難所受け入れ運営訓練を行いました。

柏市防災安全課、柏市教育委員会学校教育課、柏市地域支援課、増尾近隣センター職員の協力のもと3回の災害訓練実行委員会で討議を重ね、実施内容の詳細を決定しました。

大規模災害時の避難に関しては在宅避難が原則ですが、家屋の倒壊、焼失などでやむを得ず町・自治会指定の避難所に避難することとなります。本来ならば、実際に避難する小中高校の体育館で実施すべきところですが、コロナ禍で施設の使用制限があり増尾近隣センターの体育室（利用人数制限42名）での実施になり、増尾地域内5避難所を利用する町・自治会から各1名が参加しました。

各避難所運営委員会では、この訓練体験を活かして話し合い、実情に合った受け入れ運営体制の構築をしていただきたいと思います。

課題は多く残っていますが、避難所における災害関連死や避難所ストレスの低減に向け、各避難所運営委員会と連携を取りながら、今後も活動をしてまいります。

防犯防災部 志水 房夫



訓練参加者全員に手指消毒、検温の後、マスク、フェイスシールド、防護ガウン、靴カバー、使い捨て手袋、訓練資料の配布をして訓練を開始しました

①総合受付



避難所来所時にマスク着用確認、手指消毒を行う。検温をして体温が高い人、体調不良者、感染が予想される人に健康チェックカードによる問診を行う。平熱者、発熱者、要配慮者に振り分け、それぞれの受付へ案内。感染自宅療養者、濃厚接触者は入所を禁止し保健所へ連絡、指示を仰ぐ

②一般平熱者受付



避難所入所記録簿の記入後、避難者の状況把握のため避難者カードを配布し、居住スペースの中の一一般避難者ゾーンへ案内する



増尾ジェンヌの会

ハンドマッサージでリラックス

2021年11月29日（月）、増尾近隣センターにおいて「増尾ジェンヌの会」によるハンドマッサージを行いました。コロナウイルス感染拡大に伴い、思うような活動ができませんでしたが、やっと2年ぶりに実施することができました。

スタッフ全員が心待ちにしたこの日の参加者は16名。

感染予防として用意したお互いの手が出せるパーティーションを使ってハンドマッサージを実施しました。

好評により、来年1月27日（木）に実施することが決まりました。ぜひ、参加してください。

増尾ジェンヌの会

増田 きぬ子

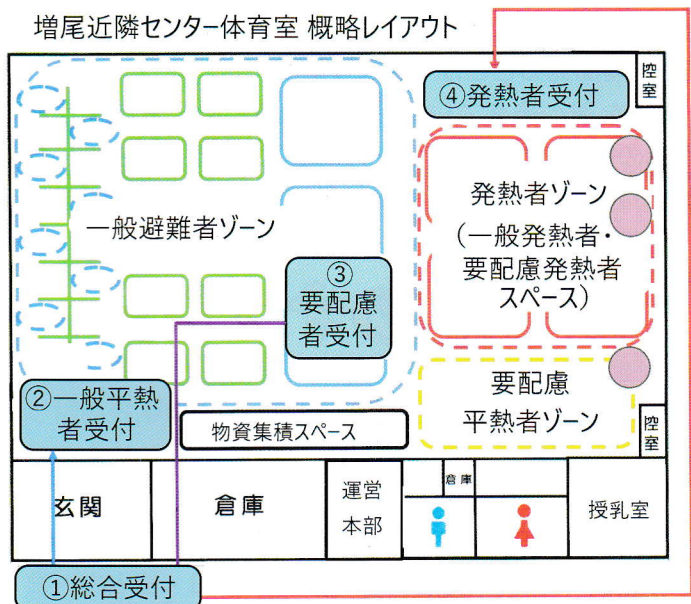


パーティーションがあれば安心

る災害訓練

防犯防災部

増尾近隣センター体育室 概略レイアウト

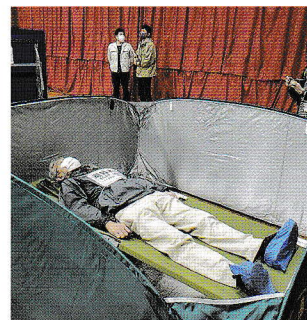


④発熱者受付



マスク着用の確認、手指消毒を行う。健康チェックシート、避難所記録簿の記入後、避難者カードを配布、一般発熱者と要配慮発熱者をそれぞれの居住スペースへ案内する

要配慮発熱者スペースのパーティション内でベッドに横たわる様子



この訓練の様子が下記の増尾地域ふるさと協議会ホームページQRコードでご覧になれます

③要配慮者受付

(一人では避難が困難な方が対象)

再度検温を行い、要配慮発熱者は発熱者受付へ案内。要配慮平熱者には手指消毒と避難所記録簿の記入の支援を行い、避難者カードを配布、要配慮平熱者ゾーンへ案内する



発熱者ゾーンのパーティション



要配慮平熱者ゾーンでの設営

増尾地域ふるさと協議会ホームページには、下記の役立つ情報が掲載されています。

役立つ情報リンク

- シニアはつらつガイドマップ
- 成年後見制度
- Slownet (スローネット)
- ホームセキュリティー (SECOM)
- みまもりサポート (ALSOK)
- 地震に備えて いま一人ひとりにできること
- 地震防災マニュアル
- 柏市緊急通報システム
- 柏市防災ハザードマップ
- 柏市地域別防災カルテ (増尾地域)
- 増尾地域元気情報2020
- カシニワ制度



ふるさと協議会ホームページQRコード

ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2・第4水曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをしてくださる方を募集中。

地区社協部 田嶋 (TEL 7172-4683) まで、お問い合わせください。

中原ふれあい防災公園に サスティナホールがオープン

中原ふれあい防災公園多目的管理事務所内に、2021年5月、誰でも利用できるコミュニティ施設「サスティナホール」がオープンしました。

この施設は、地域の住民が楽しい場づくりを目指し、さまざまな市民活動を展開していく、多世代交流の協働施設です。一人で来て読書や勉強、休憩に利用でき、事前に団体登録も可能で、2021年10月現在、23団体が登録しています。

開館時間は午前10時～午後4時。休館日は毎週水曜日と第1・3木曜日、年末年始です。団体が利用する場合は、毎月第1・3土曜日午前10時～12時に同ホールで受け付けをします。詳細は来館の上お問い合わせください。

同ホールの管理・運営は、柏市から委託を請けた「NPO法人牧場跡地の緑と環境を考える会」が行っています。

また、このホールの建設費の一部には「中原ふれあい防災公園隣接林保全基金」の運用益が使用されています。

NPO 法人牧場跡地の緑と環境を考える会
ホームページ

<https://blog.goo.ne.jp/nokositainekonohayasi>

代表 永田 明德

加賀町会

山口 邦夫



スタイリッシュな外観の
ホール

民話講演会

増尾町会

柏にはたくさんの民話が伝えられています。「増尾にある民話を通して、子どもたちに地域の歴史や民族文化を伝えたい」との趣旨で、「民話講演会」を開催しました。

2021年11月27日(土)、土小学校多目的室において「むかしばなしで街おこし」と題して、地域コミュニティを盛り上げるための活動を続けている、柏市観光協会事務局長の中島貴洋さんに講演をしていただきました。

昭和60年に発行された「柏のむかしばなし」には29話

が掲載されており、その内、増尾の民話は「鷲山のむじな」と「まれいど」の2話が入っています。その後、「厄病おん出し」「バクチぶしのしー」「カラス天狗と祭り見物」「常使えのムジナ退治」の存在が分かりました。これらの話の中には、ムジナが多く登場します。この地に多数のムジナが生息していたことが分かり、当時の地域の様子を垣間見ることができます。

民話を調べ伝えていく活動をするため、来年度から「民話の里づくりプロジェクト」を立ち上げることにした増尾町会。今後の活動が期待されます。 総務広報部

11の本のオブジェ

市内最古の小学校である土小学校が、柏市学校施設リニューアルプロジェクトにより、2021年3月に生まれ変わりました。

明治22(1889)年町村制によって、江戸時代から続いた増尾・名戸ヶ谷・逆井・藤心・今谷新田・根木内・根木内新田・酒井根・小金上町新田・中新宿・塚崎新田の11か村が合併して土村になりました。「土」は漢数字「十一」を組み合わせたもので、村々の共存共栄と連帯を意味しています。

リニューアルに伴い、その名称の残る土小学校正門内に由来である11基の本の形のオブジェが並びました。これからも歴史を語り継いでくれることでしょう。

増尾町会 市岡 實



リノベーションされた校舎を飾る
11基の本のオブジェ

高島野十郎コーナー開設

2021年7月25日から8月8日にパレット柏・柏市民ギャラリーで柏市教育委員会主催「高島野十郎展」が開催され、来場者数は4387名に上りました。同時期に増尾近隣センター図書室に特設コーナーが設けられ、連日多数の方が訪れました。 総務広報部

